

日本語と英語で主語に対する感覚に違いはあるのか

文学語学 1 班

【要旨】

「日本語と英語との間での主語に対する違いはあるのか」について探究した。日々英語を勉強する中で、言われてみれば、、、よく考えてみると、、、のような疑問(問題)がうまれた。アンケートをとり、結果をもとに考察すると、日本語と英語の主語に対する感覚は全然違うことがわかった。また、同じ言語でも海を挟んだ地域で話されているものでは全然違うこともわかった。

1 はじめに

①次の“英文”を日本語に直せ。“I went to the barber to cut my hair.” 管内の高校(石巻好文館高校、石巻高校、石巻西高校)にアンケートを取り、上記の質問をした。

<アンケート結果①>

私は髪を切りに床屋へ行った

私は髪を切るために床屋に行きたい

私は髪を切るために美容室に行った。

私は私の髪を切るために床屋に行きました。

私は髪を切るために床屋へ行きました。

私は自分の髪を切るために美容室に行った。

私は自分の髪を切るために床屋に行った。

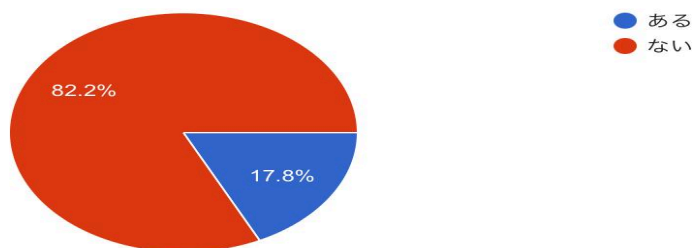
私は髪を切るために美容院へ行きました。

私は床屋で髪を切りたい

<アンケート結果①>によると、さまざまな回答があったが、正解不正解関わらず、どれも日本語としては正しい。しかし、実は上記の“英語”は間違っているのだ。そこで、どこが間違っているんだろうということではなく、なぜ、間違った英文を正しい日本語に直してしまうのか。下線部が疑問(問題)点①となる。

②1次の“日本語”に違和感を感じるか。“記念日にはケーキを買う。”管内の高校(石巻好文館高校、石巻高校、石巻西高校)にアンケートを取り、上記の質問をした。

<アンケート結果②1>

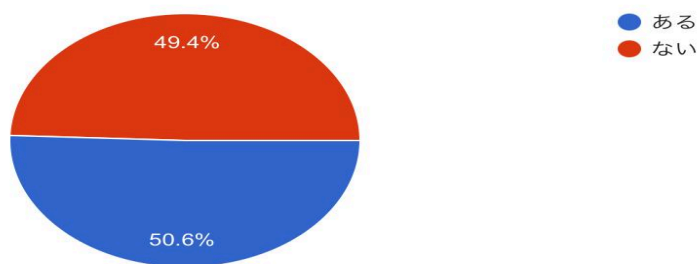


<アンケート結果②1>によると、8割以上の方が違和感がないと回答した。かく言う私自身もこの“日本語”には違和感がない。

②2次の“英語”に違和感を感じるか。ただし、この“英語”は②1の“日本語”を英訳したものである。“Buy a piece of cake on anniversaries.”管内の高校(石巻好文館高校、石巻高校、石巻西高校)に上記の質

問をアンケートとして聞いた。

<アンケート結果②>



<アンケート結果②>によると、違和感を感じる人、感じない人、それぞれ半々といったところだろうか。しかし、②①に比べると、違和感を感じる人の方が多いことがわかる。では、同じ意味なのに英語にしたら違和感がある理由はなんだろうか。下線部が疑問(問題)点②となる。

今回は①・②の疑問(問題)点について探究を進めた。また、その原因として挙げられる両言語の“主語”についても探究した。

2 研究の目的

日本語を話す我々日本人が英語を学習する際、日頃の経験から、『日本語の当然は英語の当然』と考えてしまうことが多いと思われる。だが、実際はそうではなく、同じ言語としての共通点はあるものの、『日本語の当然は英語の当然』は成り立たないことがほとんどなのである。したがって、日本人が英語を学習する際、日本語と英語の違いについて十分に学習し、理解をする必要があると考える。今回は数ある違いの中でも主語について探究を進めたいと考えた。

3 仮説

日本語と英語は話されている場所や人が違うのももちろん、成り立ちも異なるため、それぞれの言語の特徴に違いがあるのが当然である。だが、言語というものを一括りにして考えてみると、言語に必要不可欠な主語はどの言語でも同じ特徴を持っていると考えることもできる。けれども、先ほどのように、話されている場所や人が異なる以上はその外的要因が新たな主語の特徴を作り上げ、それが日英各言語における主語の違いになると考える。

4 研究方法

- インターネット上の資料
- 書物
- 市内の生徒を対象にしたアンケート

5 研究結果

疑問点①について次のことが探究を通して得られた。疑問点①を解決するためのキーワードは意味上の主語である。ここで、意味上の主語について説明する。意味上の主語は準動詞(不定詞、動名詞、分詞)の主語と捉えれば良い。意味上の主語は必ず文章内にあるはずだが、書かれていない場合が多い。というのも、意味上の主語は本文の主語と一致する場合が多く、その場合、意味上の主語は書く必要がないからだ。

そこで、疑問点①の英文を見てみると、意味上の主語が明記されていないため、準動詞(to cut)の主語は本文の主語の“I”であることがわかる。つまり、訳してみると、“私は自分で髪を切るために理容室に行った”となるが、これは常識的におかしい。理容室で髪を切るのは自分ではなく、理容師だからだ。ここで、着目したい点は準動詞の主語が本文の動詞の主語と一致しないことである。だが、<アンケート結果①>では、多くの人々がその点に着目していないように思われる。

日本人はわかっていることをわざわざいう必要がないという感覚を持っている人が多い。その影響が今回の英文和訳の結果に反映していると思う。対して、英米人は言われないとわからないという感覚を持っている。英米人の解釈は「私は床屋に行って自分で髪を切ったよ」であるが、日本人の解釈「私は髪を切るために床屋に行ったよ」となる。我々日本人はわざわざ理容師が切るって言わなくても通じるだろうと思うかもしれないが、それが、日本語と英語の主語に対する感

覚の違いの1つである。

実際に、英語を話す国の一部(アメリカなど)では、理容師や医師はカスタマーに対して、最初にそれぞれの免許を見せることがある。その理由は、自分の身分証明であるが、意味上の主語と同じように、しっかりと明記(提示)されないといけないという考えがある影響なのかもしれない。

疑問点②についても次のことが探究を通じて得られた。疑問点②を解決するためのキーワードは文型である。前提として、日本語は単語同士を入れ替えても問題はない。その理由は助詞があるからである。対して、英語は単語同士を入れ替えると問題がある。その理由は助詞がないからである。詳しくは例を参考にしてもらいたい。

例 私は夏休みに東京ディズニーランドに行く。
 東京ディズニーランドに私は夏休みに行く。

I'm going to Tokyo Disneyland this summer.
Tokyo Disneyland I'm this summer going to.

日本語は入れ替えても多少のニュアンスは異なるものの、大きな意味の違いは生まれない。しかし、英語は青い下線部がついているように、適切な文でないのが一目瞭然である。先ほども述べたように、英語には助詞が存在しないため、単語同士を入れ替えることができない。助詞は日本語で言う「は、を、が、に、」などであるが、英語の助詞に値するものはなんだろうか。それが、文型なのである。

このことを参考に先ほどの文章②1、②2を読んでみると、文章②1は主語の明記がないが、それは日本語としては問題ない。同じく文章②2も主語の明記がないが、それは英語としては問題が生じる。というのも、英語の文型は5パターンあるが、全てに**S**(主語)が存在するため、英語の文に**S**は必要不可欠なのである。それにもかかわらず、文章②は主語が記載されていない。それが、日本語と英語の主語に対する感覚の違いの1つである。

主語の記載がない英文は命令文として捉えられるため、違和感につながるということである。

6 考察

日本語と英語では主語に対する感覚が大いに異なる。そのため、疑問点①のように、間違った英語を正しい日本語に訳してしまうことや、疑問点②のように、同じ意味なのに英語にしたら違和感が生まれることになる。日本語と英語では主語だけに焦点を当てても、感覚が大いに異なることから互いの言語を理解するのは大変で、一方的な感覚で他方の言語を学ぶ際、日本語感覚だけで英語を学ぼうとすると、英語を誤って理解してしまう可能性がある。英語を学ぶ際は、日本語と英語の違いに気をつける必要がある。

7 おわりに

日本語は世界で見ても文字が多い言語で有名である。もちろん、英語と日本語の主語を含む文構造の違いは大いに異なるが、英語はアルファベット26文字から成り立っている至極シンプルな言語だと私は考える。互いの言語の特徴を理解した上で、英語を学ぶと、スムーズな学習が出来ると思う。今後、私は英語に関する教育分野について学ぶが、その際、生徒や英語学習者が先ほどのような疑問点にぶつからないようにするために、よりわかりやすい説明ができるよう探究を進めていきたいと考える。

【参考文献】

(図書)

関 正生『真・英文法大全』KADOKAWA 2022年

若者の読書離れは本当に起きているのか

文学語学2班

近年読書離れが進行していると耳にするがそれはなぜなのか、それはSNSの普及によって引き起こされているのではないかと考えた。そこでデータ収集やアンケートを実施したところ、読書量が全体として減少しているという結果が見られた。この結果から、読書離れは実際に起こっており、これからも進行し続けると考えられる。

1 はじめに

読書離れとは新聞や書籍などの活字媒体を以前に比べて読まなくなる、読む分量が少なくなることを指す。読書離れが進行すると困ること、それは読解力の低下ではないだろうか。読解力が低下すると説明されたことや書いてあることが理解できないなどの問題が発生する。また、想像力が育たず他人の気持ちを理解できない、表現力が身につかないなどの問題が起こり得ると考える。なお、今回の研究は紙媒体での読書を指し、電子書籍等は含まないものとしている。

2 研究の目的

高校生へのアンケートや過去のデータから本当に読書離れは進行しているのか自分なりの結論を見つける。

3 仮説

読書離れはSNSの普及によって引き起こされている、または拍車をかけられているのではないか。近年の読書離れの原因は忙しいから以外にもあるのではないか。

4 研究方法

- ①司書さんに聞いて過去の貸し出し冊数の増減を調べる
- ②高校生にアンケートを実施し結果をまとめる
- ③読書離れに関する論文などを読みデータをまとめる

5 研究結果

下記のグラフは好文館高校過去10年間分の貸し出し冊数を調査し、作成したものである。(下の折れ線グラフが生徒数、上の折れ線グラフが貸し出し冊数)



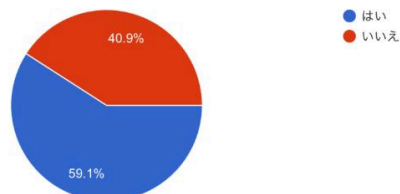
グラフ1 校内貸し出し冊数

(2015年より集団読書用の貸し出しを冊数に含むようになる。また2019年より新校舎建設のため仮校舎に移転したことから図書室を訪れる人が減少している。)

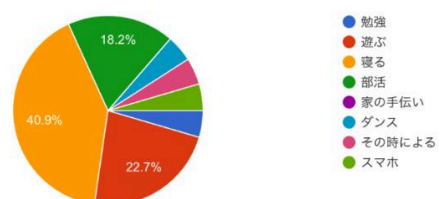
グラフから分かるように、生徒数がほぼ毎年同じなのに対し、一時は2000冊近かった貸し出し冊数が現在は1000冊近くまで減少してしまっている。学年に何人か本をよく借りる生徒がいると貸し出し冊数は増加するが、ここまで減少するということは、そもそも図書室を利用する生徒が減少している、そこまで本を借りに来る生徒がいない、ということを目指していると思う。

次の3つのグラフは好文館高校の生徒にアンケート調査を実施し、その結果をまとめたものである。

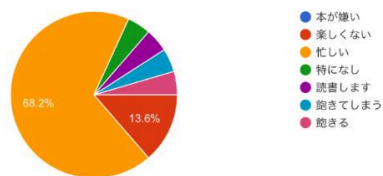
読書は好きですか？



普段空いた時間に何をしますか？

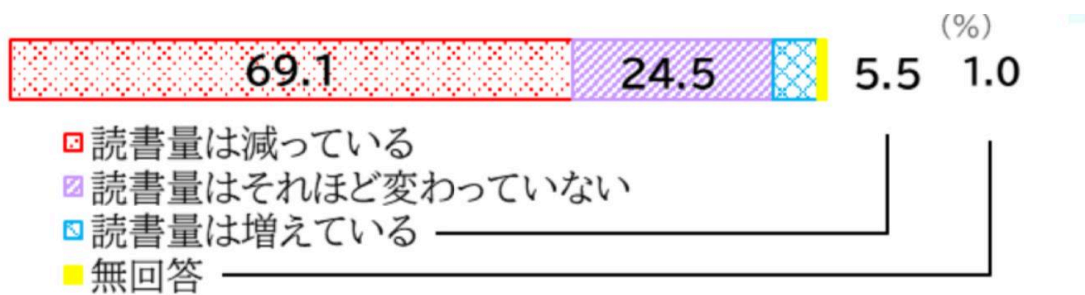
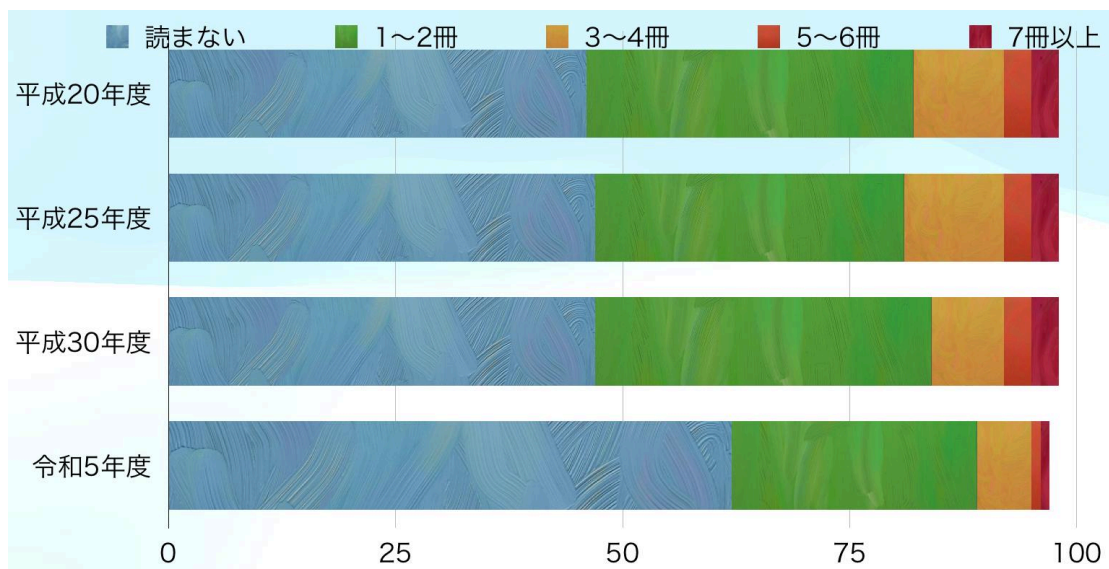


読書をしない理由はなんですか？



グラフ2 校内アンケート結果

「読書が好き」という人の割合が59.1%と多いが、「忙しい」という理由から読書をする事ができない人の割合が68.2%と多く見られた。また、空いた時間に何をするかという質問に対し「寝る」と回答した人が最も多い結果となった。この結果から、好文館高校では読書が嫌いではないが忙しいため読書が出来ず、貸し出し冊数の減少に繋がっていると考えられる。

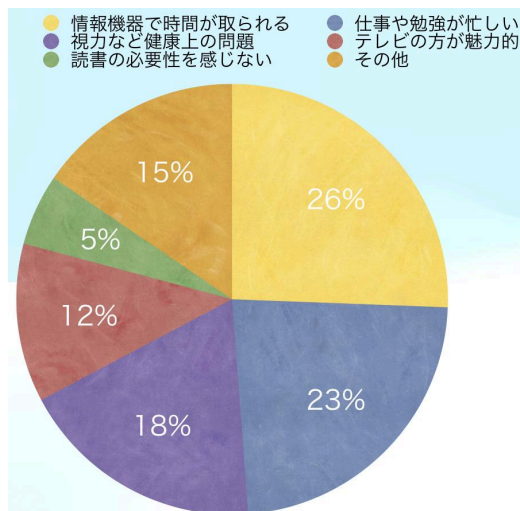


グラフ3 「国語に関する世論調査」より引用

上の2つのグラフは平成20年度から令和5年度まで、「1ヶ月に読む本は何冊か」、「自分の読書量は減少したと思うか」という質問に対する回答である。

平成20年度には「本を読まない」と回答した人が5割だったのに対し、令和5年度には約6割を占めており、本を月に7冊以上読む人も大幅に減少してしまっている。そして「読書量が減少した」と回答した人が全体の7割を占めている。

これほど多くの人が自覚するほど、日本全体で日常的に本に触れる、本を読むという行為は減少してしまっている。



「国語に関する世論調査」より引用

このグラフは読書量が減少している理由は何かという質問に対する回答である。最も多かったのが「スマホなどの情報機器に時間が取られる」で全体の26%を占めている。また、同様の質問を年代別に集計したところ「情報機器で時間が取られる」という回答が最も多かったのが16歳～19歳だった。次いで多かったのが「仕事や勉強が忙しい」で23%という結果である。

6 まとめ・考察

今回得られたデータからの自分なりの結論は「読書離れは身の回りで実際に進行しておりこれからも進行し続ける」である。アンケートによる調査結果や調べたデータから、様々な調査に共通して読書量は減少しており、多くの人が自分の読書量は減少したと自覚している。情報機器はこれからも進化を続け、人はそれに依存し続けるだろう。よって、これから先も読書離れは進行し続けると思う。

7 おわりに

情報機器に依存してしまう人が多く本に触れる機会が減少しているために、読書離れの進行に拍車をかけている。「国語に関する世論調査」のアンケートで「本を読む価値を感じない」と回答した人がいたが、私は映画やアニメを観るよりも実際に本を手に取り読むことからしか感じられない作者さんの思い、感動があると思う。映画を見たとき、原作があるならぜひ手に取ってほしい。本に少しでも興味を持つこと、本を手にとることが読書離れへの対策になる。本を読めば読むほど様々な考え方が身につき、見える世界が変わる。

「本を読むと自分の中にはない沢山の言葉に出逢える。辛いときや悲しいとき、本からもらった言葉が私たちの心に再び火を灯してくれるでしょう。」

これはブックホテルさんのサイトから引用してきた言葉だ。私にも心に火を灯してくれた言葉が沢山ある。ぜひ本を読み、心に火を灯してくれる、心の支えとなってくれる言葉達と出逢ってほしい。

【参考文献】

「国語に関する世論調査 令和5年度」

https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/pdf/94116401_01.pdf

「Wikipedia」

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%B4%BB%E5%AD%97%E9%9B%A2%E3%82%8C>

教科書英語の学習だけで英語は上達するのか

文学・語学3班

1 はじめに

ここで言う『英語上達』とは、テストで高得点をとることではなく“英語で対話できる”という事を指す。私たちは英語上達、習得のためにどのような学習法が効果的なのか、またどんな学習要素が不可欠なのか、「学習法」にフォーカスを置いて、日本の教育の特徴である「教科書教育」の学習はこの英語上達に効果的な影響を及ぼすのか興味を持ったため、このテーマで調べた。

2 研究の目的

私たちは普段から、「読み取る、分析する」などどちらかといえば教科書英語をベースとした、授業を受けている。しかし、これだけでなくどのような学習法が最も英語上達に効果的なのか明らかにしていく事。

3 仮説

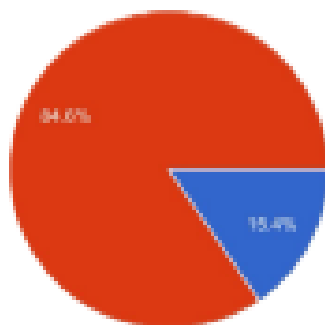
教科書英語の学習だけが効果的なわけではない。

4 研究方法

- 一. 英語が苦手な人と得意な人の勉強法の違いを調べる。
- 二. 好文館高校の英語科の先生にどのように英語を勉強した、しているのかをきく。
- 三. 留学などの海外へ行く活動にはどのようなものがあり、どのような力が身につけることができるのかを調べる。

5 研究結果

学年の生徒に対し、一.「学校での活動を含め、あなたは英語が得意だと思いますか」二.「普段の英語の勉強法を教えてください」三.「本当に英語の上達に必要な方法はなんだと思いますか」という三つの項目でアンケートを実施した。結果は、一項目目の得意、不得意かという質問に対して、苦手意識が高いと答えた人が全体の約八割とほとんどの割合を占めていた。そして、二項目目の英語の勉強法についての質問には、多くの人が学校での学習を基礎とした方法を回答した。例としては、文法書を利用する方法などだ。ところが、最後の三項目目である、自身が思う本当に必要な学習方法はこの問に対しては、話す聞く、積極的にネイティブとコミュニケーションを取る など実践的に英語を使おうとする意思のある人が大半であった。ここから読み取れることは、「多くの生徒が英語に対して高い苦手意識を持っており、その学習法が少なくとも実践的に英語を使う方法ではない」ということだ。つまり、普段から行なっている学習と、彼らが本当に必要だと思っている方法の相違が起きているのだ。



好文館高校の英語科の先生方にどのような学習法をしてきたか尋ねた。

- 一. 留学について一パフォーマンスを上げるため、日本とは異なる語順などのある程度の知識、特徴を知っておく必要があると言う話があった。そして、知識を持っていなくても留学に行ってみることで、自分の知識段階を把握することができ、英語学習の意欲を高められるという意見もあった。

二.NHKラジオ英会話の視聴について—とある場面の英会話をリスニングしてから解説音声聞くなど、小さな活動が詰まっているため集中力を保ちながら学習することができるという。実際の発音などを確かめ、日本語での内容理解もあるというところから効果的であるという意見があった。

三.伝わらない練習について—留学先や旅行先での現地の方々、ALTの先生方と自分が得た知識を実際に使って話してみることで、「本当は違う言い方だったんだ」と、自らが気づき、間違った言い方を自らで改善していくことで英語の定着につながるという意見があった。

留学について調べた。

留学の種類について—主に5つある。1つ目は正規留学。単位を取りながら語学力と国際感覚を鍛える。海外の大学や高等教育機関に正式に入学し、卒業を目的とする留学。2つ目は語学留学。海外の語学学校に通い、語学力を伸ばすとともに、海外生活を体験する。短期留学から長期留学まで期間や目的に合わせて様々なプログラムがある。3つ目は大学留学。海外の大学に進学して学位を取得する。大学留学の種類に交換留学・認定留学・休学留学などがある。4つ目は親子留学。親と子どもと一緒に海外留学するプログラム。子どもがインターナショナルスクールや現地の学校に通う。親は語学学校で学ぶのが一般的。子どもが学校に通い、親が生活サポートに専念するパターンもある。5つ目は国内留学。国内にしながら、まるで海外留学のような体験ができる留学プログラム。

留学によって身につく力—語学力だけでなく、コミュニケーション能力、異文化理解力、グローバルな視点、自立心、行動力などが身につく。また、世界で通用するような、柔軟性や問題解決能力も身につけることもできる。留学は、単に語学力を向上させるだけでなく、人間として成長し、国際社会で活躍するための力を養う機会。

6 考察

仮説で述べたように、英語の上達、習得に必要なのは私たちが普段学校で行っている教科書のみを用いた学習法だけではなさそうだ。実際に英語を話してみる、使ってみる、そして片方のそれだけに偏らず、自身の目標に合わせていくつかの学習法を組み合わせることが効果的である。英語を話すために「使う」問題を解くために「解る」この二つは全くの別物である。大学、専門学校などの進学のために英語を学ぶならば教科書や文法書を用いて試験に備えた知識を身に付け、実際に外国移住や留学、旅行に行くためならば、英語の音楽や映画を観て英語に触れ、話す、聞くなどの実践的な英語力を身に付けるべきだ。目指す目標に合わせて、自身の勉強法を工夫していかなければならないと私たちは考察する。

7 おわりに

各々の目標に合わせた勉強法を自分なりに工夫して実践していくことが良い。これらの事から、自分の現状に合わせ、適切な勉強法を見極めることが大切だ と考えた。

【参考文献】

好文の英語科の先生
学年へのアンケート結果
webサイト

年齢が上がるにつれて減っている読書量は増やせるのか

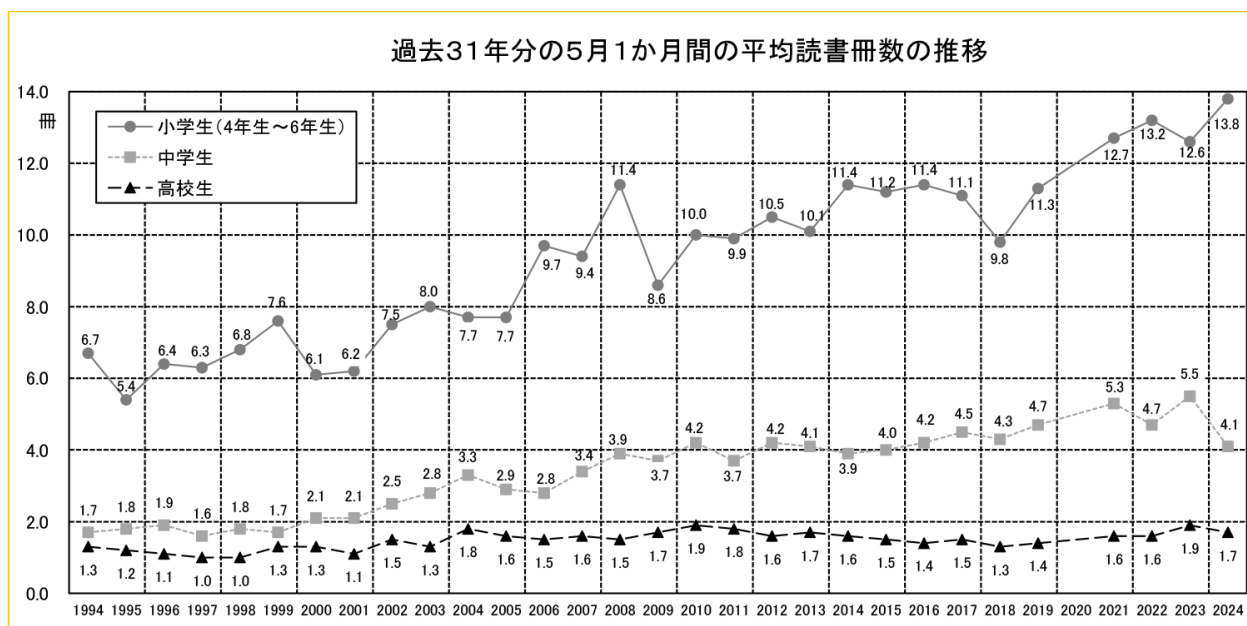
文学・語学4班

【要旨】

日本人の読書量が年齢が上がるにつれて減少していると知った時に上がった「読書量を増やすことはできないのか」という疑問を基に研究を行なった。「読書を身近なものにすることで上げることができる」という仮説を立て、文献調査や本を読まない人へアンケートを行なった。その結果、本を読まない理由の一つに本を読むまでのコストをかけたくないという意見が出た。これは、少ないコストで本を読む事ができる電子書籍の存在を知らない、つまり読書が身近でないということだと推測したため、仮説は成り立つと考えた。

1 はじめに

このテーマについて研究しようと考えたきっかけは、小学生から高校生にかけて平均読書冊数が減っていると知った事だ。読書によるメリットは多くあるため、読書量を増やすことはできないのかと思い研究を行なった。



全国学校図書館協議会：学校読書調査

2 研究の目的

この研究の目的は、読書量を増やすことはできるのか、どうすればできるのかを明らかにする事で様々な人に読書をしてもらうことだ。

3 仮説

読書を身近なものにする事で上げる事ができる

4 研究方法

- ・ウェブサイトで調べる
- ・アンケートを取る

5 研究結果

まず始めに、読書量が多い国と日本の違いはあるのかを調べた。読書量の多い国の第一位は中国であった。中国では親子読書と呼ばれる保護者と子供とが一緒に本を読む習慣があり、幼少期から本を読む習慣がついているのではないかとと思われる。しかし、日本でも小学生の頃の読書量が多い

ので別の原因があると考えたため、次に日本人が本を読まない理由を調べた。その結果、文献調査では「勉強や部活をするので時間がない」「本を読むことに興味がない」などが挙げた。普段本を読まない人へ行なったアンケートでは、前述したものに加え「本を読むまでのコストをかけたくない」という意見も上がった。

6 考察

私はアンケートの「本を読むまでのコストをかけたくない」という意見に目をつけた。ここでいわれているコストというのは本の価格、本屋や図書館への移動などのことだと考えられるが、電子書籍というものはアプリを入れたり、一部を除きお金がかかったりというコストは多少あるものの、普通に本を読むよりコストがかからないといえるだろう。にもかかわらずこの意見が出るということは、電子書籍という存在を知らない、どれだけ便利か知らない、ということだと私は考える。これは読書が身近ではないから起きていると思うので、仮定は成り立つと考えた。

7 おわりに

この研究では、「読書を身近なものにする事で読書量を上げる事ができる」という結果が出たが、今後はどうすれば読書を身近なものにできるかについて考えていきたいと思う。

【参考文献】

- (1) 全国学校図書館協議会『第69回学校読書調査』

<https://www.j-sla.or.jp/material/research/dokusyotyousa.html>

参照日：2025年4月26日

- (2) GfKジャパン『読書頻度に関するグローバル調査』

<https://jmra-mds.jp/wp/wp-content/uploads/2019/12/20170327GfK.pdf>

参照日：2025年4月30日

- (3) 東京都教育委員会『子供読書活動推進に関する調査』

<https://www.kyoiku.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/04/2025042402>

参照日：2025年4月30日

敬語が発達したのは日本だけなのか

1 はじめに

日本の敬語は古代まで遡り、8世紀の文献にすでに敬語が使われていることがわかる。したがって正確性はないが古代の身分制度において、上下関係を表す専用の形式が必要とされて生まれたと考えられている。そこで私たちは、日本では当たり前の敬語だか世界的に見て外国にも発達しているのではないかと考えた。

2 研究の目的

日本人なら誰も必ず使ったことがある敬語だが、日本だけでなく世界で見ると外国には敬語という概念があるのか調べる。

3 仮説

外国にも敬語の概念はあるが日本ほど区別はなく複雑ではない。

4 研究方法

- ・インターネットで、他言語の敬語表現があるのかを調べる。
- ・本を使い、敬語の意識や傾向を調べる。

5 研究結果

- ・日本語の敬語は三つの区別がある。
- ・中国語の敬語はもともとと語とは別に敬語表現のための語がある。例としてはあなたという意味の語は你と您の2種類あり、您是你的敬称版で您是初対面の人や丁寧な場面で使う。よって中国語では日本語のように動詞を変化させて敬意を表す表現になるという物はなく、名詞を変える、動詞に文字をつけることで文自体が丁寧なものになる。
- ・英語の敬語表現に区別はないがかしこまった表現が存在し、時制を過去にするcould,wouldのような語を使い、相手との距離感を出したり、クッションのような役割を持つexcuse meなどの語を挟むなどして表現する。相手におすすめるするときや疑問形になる時のmustは丁寧な表現になることがある。
- ・韓国語の敬語表現は日本語と同様に区別があり、韓国では儒教の影響で年上の人を敬うという文化があり、目上の人には必ず敬語を使う。文法的なルールで日本語に似ている部分を上げると語の中に「シ」という音を挟むことで敬語表現になることや、文末に日本語で言う「です」や「ます」のような言葉である「イムニダ」や「スムニダ」をつけるというところがある。日本語の敬語には見られないが、単体で敬いの意味を持つ語も存在する。

6 考察

日本語の敬語は古くからの上下関係を重んじる傾向が関係し、現代の敬語ができて)いると考える。文化庁のホームページによると「国語の歴史における敬語の推移(は、飛鳥時代から奈良時代までの絶対敬語(特定の人物に対して常に使う敬語)及び尊敬語・謙譲語中心の時代から、中古(平安中期から鎌倉時代まで)の聞き手意識の出てくる時代を経て、現代の尊敬語・謙譲語・丁寧語中心の時代へという流れとしてとらえることができる。」とある。他の国もこのように古代の文化や制度、その地を統治していたものに対する言葉遣いなどが関係し、現代の敬語表現や相手を敬う際のルールのようなものがつくられていると考えた。

7 おわりに

敬語はもと神や天皇に対する畏敬の念に発したもので、古くは文字通り敬いの気持ちを表す言葉だったと思われる。

他国と比べると、中国語の言い方を変え、文自体を丁寧な表現に変える、韓国語の「シ」を挟んで敬語表現にする、英語のクッション言葉や時制を過去にし、相手との距離感を出し敬意を表現するなどがあり他国にも敬語が存在していると思われる。したがって、テーマの答えとして敬語が発達した

のは日本だけでなく他国においても発達していたと言える。

【参考文献】

- ・ 韓国語の敬語
https://nativecamp.net/blog/20200630_Korean
- ・ 中国語の敬語
<https://fij.tokyo/blog/languageinfo/keigo.html>
- ・ 英語の敬語 (論文)
<https://www.lib.fukushima-u.ac.jp/repo/repository/fukuro/R000003999/16-88.pdf>
- ・ 大日本百科事典 P462
- ・ 文化庁現代における敬意表現の在り方
https://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/sisaku/joho/joho/kakuki/21/tosin03/10.html

単語効率の効率化

文学語学6班

【要旨】

1 はじめに

英語長文の読解に必要な単語力を鍛えるためにどうゆう勉強法が良いのか調べたいと思い探究を始めた。

2 研究の目的

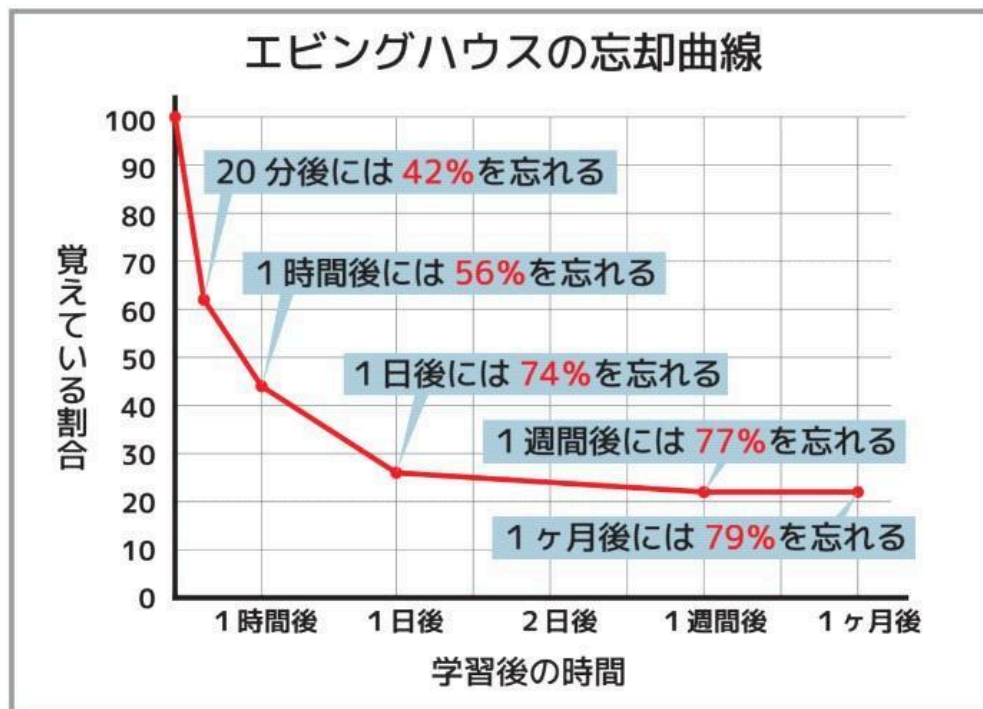
英単語暗記の効率化を図り、長文読解また単語問題、そして語彙力を上げることが目的だ。

3 仮説

適切な学習法をすることで効率的に暗記を促進することができる。

4 研究方法

接頭辞また接尾辞を活用し、また単語を声に出して発音し視覚的に書き写すなど複数の感覚を使うことで短期記憶として定着させ、定期的な復習をすることで、エビングハウス忘却曲線に逆らって長期記憶に定着する。



図－1

5 研究結果

接頭辞や接尾語を活用した感覚を使った単語学習方法は暗記に有効である。

6 考察

接頭辞を使った学習方法では、DistributeやContributeは接頭辞DisとConの違いに注目して、Disは分離のイメージを持っている接頭辞、そして語源のTributeは与るのイメージがある、それが組み合わさることにより分配の意味が生じる。Conには共にのイメージがあるので、組み合わせると貢献する寄付するの意味になる。このような単語は

import,export,require,inquire,acquire,などがある。また単語を声に出して読むことや、聞きながら覚えることも暗記に効果的であった。文章の中で接した単語の方が印象に残りやすく、精読をする事で単語帳で見るとよりも覚えやすかった。またエビングハウスの忘却曲線に基づいて1日から1週間から1ヶ月の頻度で学習をした方が良かった。

7 おわりに

今回の探究から長文を読み精読することで、暗記をしやすくなることがわかったので、次は長文を使った単語学習方法や、定着する復習の間隔を自分でも調べていきたい。

【参考文献】

<https://keiei-shinri.or.jp/word/%E3%82%A8%E3%83%93%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%83%8F%E3%82%A6%E3%82%B9%E3%81%AE%E5%BF%98%E5%8D%B4%E6%9B%B2%E7%B7%9A/>

エビングハウスの忘却曲線の説明

<https://yoshin-zemi.com/blog/tk-2/>エビングハウスの忘却曲線のグラフ

Z会 速読英単語